

Art Here 2025

企画提案募集



اللوفا أبو ظبي
LOUVRE ABU DHABI



RICHARD MILLE

企画提案募集

Art Here 2025

Richard Mille Art Prize

第5回目となるアート・ヒアの開催にあたり、ルーヴル・アブダビは、屋外スペースでの展示にふさわしい彫刻やインスタレーションを制作してもらい、当館の普遍的なストーリーの一部となるよう、GCCおよび日本を拠点とするすべての現代アーティスト、および中東・北アフリカ地域 (MENA) を拠点とし、GCCに関わりのあるアーティストを対象に募集を行っています。リシャル・ミル氏とのコラボレーションにより、ルーヴル・アブダビは、「アート・ヒア 2025」の中心的な表現の場を提供することで、芸術家を支援することを目的としています。

タイムライン

応募締切: 2025年4月30日

選出アーティスト発表: 2025年5月

展覧会オープニング: 2025年10月

「影」

毎年恒例となった公募展は今年、中東・北アフリカ地域から日本へと地理的範囲を拡大して、建築、芸術、詩歌、伝統的価値観の共通点を共有します。「Art Here 2025」では、芸術家に「Shadows (陰影)」というテーマを投げかけ、ペルシャ湾と日本の美的感覚の共通点を探究するよう呼びかけています。

「陰影」とは、思索のための陰影のある空間美を探究する芸術家への招待状です。つまり、芸術家に光と闇を自分なりの解釈で表現する作品の制作を呼びかけるものです。「陰影」とは、安らぎを与えるだけでなく、光を制御することによって創出され、別の現実を暗示する、驚くほど詩的な存在でもあります。戸外において、「影」は内省的な瞬間を作り出すこともよくあります。

この「Shadow」は日本語では「陰影」と訳されます。これは、直接的な光が遮られたときに生じる薄暗さや淡い光の状態を指しています。光が拡散するとアルコーブで遮られることも多く、瞑想に適した曖昧な領域を生み出します。その一例が日本の多くの家屋にあつて家の中からの光を拡散させる「縁側」の役目をする「障子」です。これは、アラブ首長国連邦の伝統的な「ハリージ」族の家における「ミンワール」という採光窓に取り付けられた木製の格子「マシユラビーヤ」が、厳しい日差しを和らげる手法とよく似ています。光を柔らかく反射する漆器や、彫刻が施された木材で作られた格子窓「マシユラビーヤ」など、素材について学ぶことで、このテーマを現代的な文脈で再解釈することが可能になるでしょう。

また、アラブ首長国連邦や湾岸地域は、海岸線や砂漠の厳しい日差しから逃避するための特別な場所でもあります。影は単に生存するための手段というだけでなく、内なるプライベートな世界を包み込む室内空間のデザインにも美を見出すことができるものなのです。光を反射するよりも吸収する素材が好まれる傾向にあるなか、西洋と東アジアの両端から生まれた芸術や建築は、公共領域の哲学的な理解にも浸透している影の働きを装飾してきました。

今年の「Art Here」では日本を題材に、「陰影の美」を物質的なつながりと光の考察という切り口から見ていきます。本イベントは、ルーヴル アブダビ (Louvre Abu Dhabi) のドームの下、アル アインオアシスの椰子の木陰に見える無限の影から着想を得て開催されます。

ルーヴル アブダビのアイコンックなドームの影を、どのように芸術という側面から再解釈し、取り込むことができるでしょう？ 明るさよりもむしろ薄暗さにおいて、色や形、素材はどのように反応するのでしょうか？ 自然と人工の両方の形態において、どのようなパターンを影は作り出すことができるのでしょうか？ さらに重要なこととして、光を隠したり、消したり、再創造することからどのような意味を引き出すことができるのでしょうか？ これらは、今年の「Art Here 2025」展「ルーヴル アブダビ」が示すテーマの方向性であり、中東北アフリカ地域および日本の芸術家たちに、自分の現在の立ち位置と、どこに向かっているのかという独自の視点で応えるよう呼びかけています。

ソフィー 麻由子 アルニ (Sophie Mayuko Arni)
Art Here 2025 ゲストキュレーター

応募方法

応募はすべて登録リンクから行い、
1つのPDF (最大20ページ) にまとめて
応募フォーム上でアップロードしてください。
応募書類には以下を含めて
ください*

- 履歴書。
- 身分証明書またはパスポートのコピー (GCCおよび日本国籍保有者および居住者、GCCと関わりのある中東・北アフリカ地域 (MENA) のアーティストが対象)。国籍以外の方は滞在許可証 (ビザまたは身分証明書) の提示も必要です。
- ポートフォリオ。
- 応募作品のコンセプトを説明する短い文章 (500ワード)。
- 素材や制作に使用するサステナブルな手法についての説明を含めることを強く推奨。
- 応募作品の技術仕様 (画像/ファイル、説明、展示要件など)。
- アート作品の制作と設置のための暫定予算、上限は10万AED (UAEディルハム)。*暫定予算には、設置、開会式 (アブダビで1週間) にかかるアーティストの旅費と宿泊費を含めてください。

* 応募書類に不備がある場合は審査対象外となります。

応募の提出先

<https://www.louvreabudhabi.ae/en/exhibitions/art-here-2025>

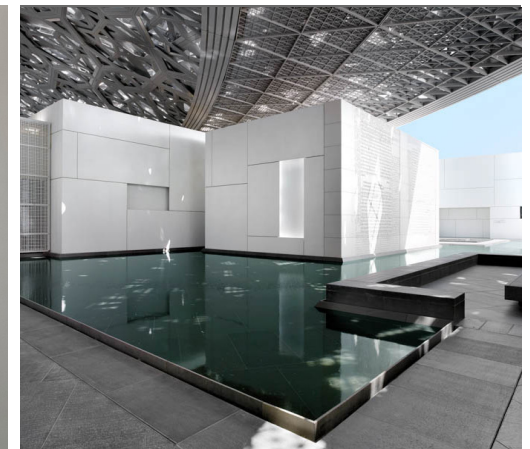
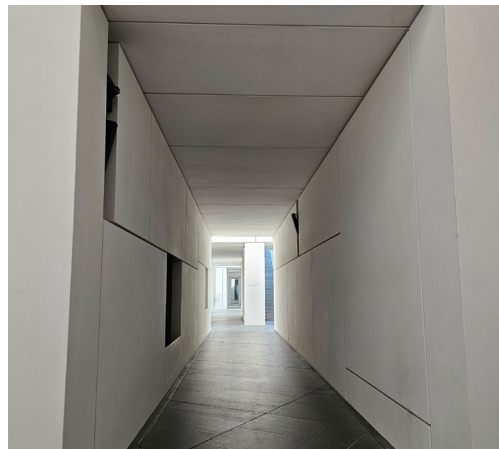
ご質問はメールでお問い合わせください:

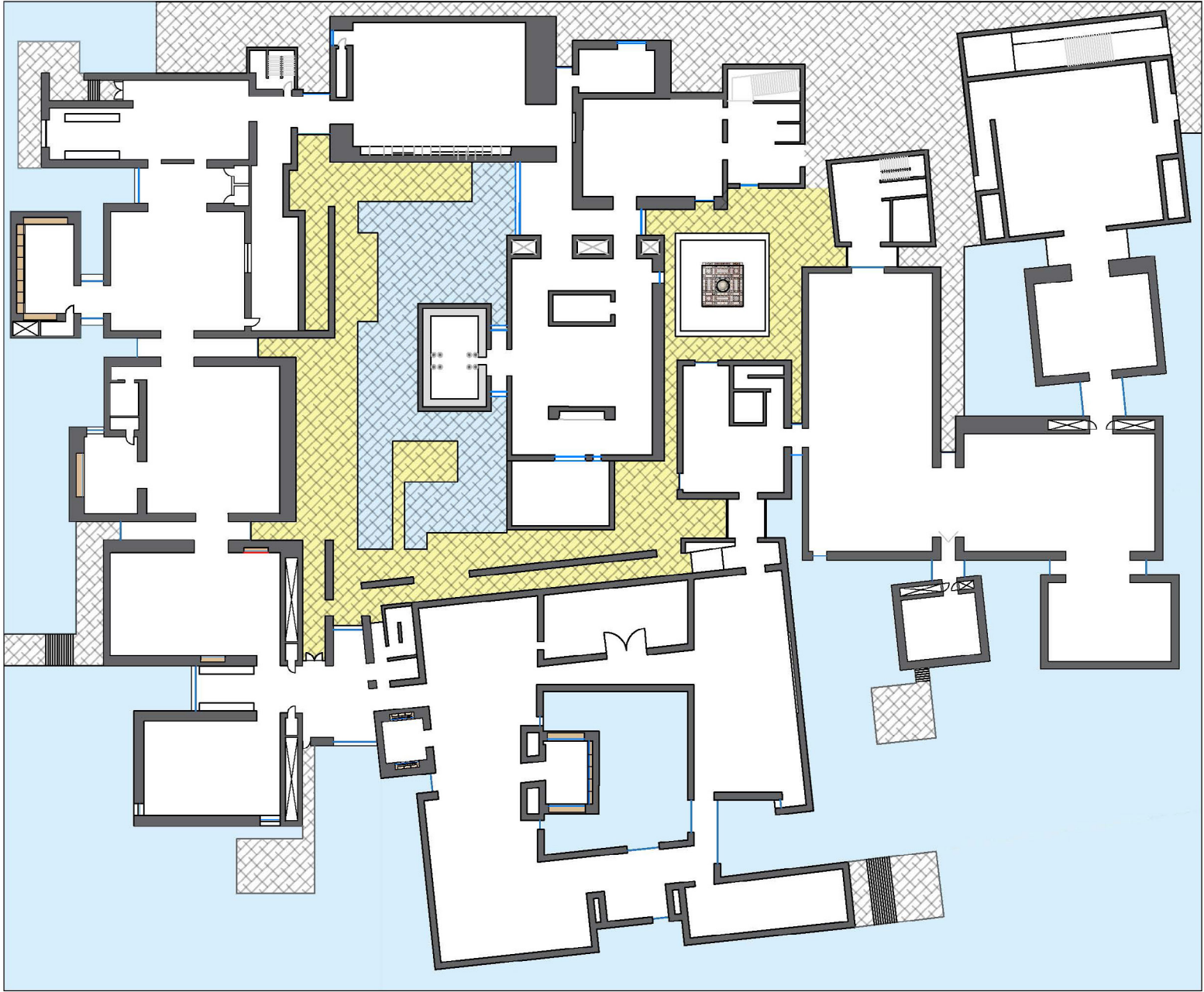
artprize@louvreabudhabi.ae

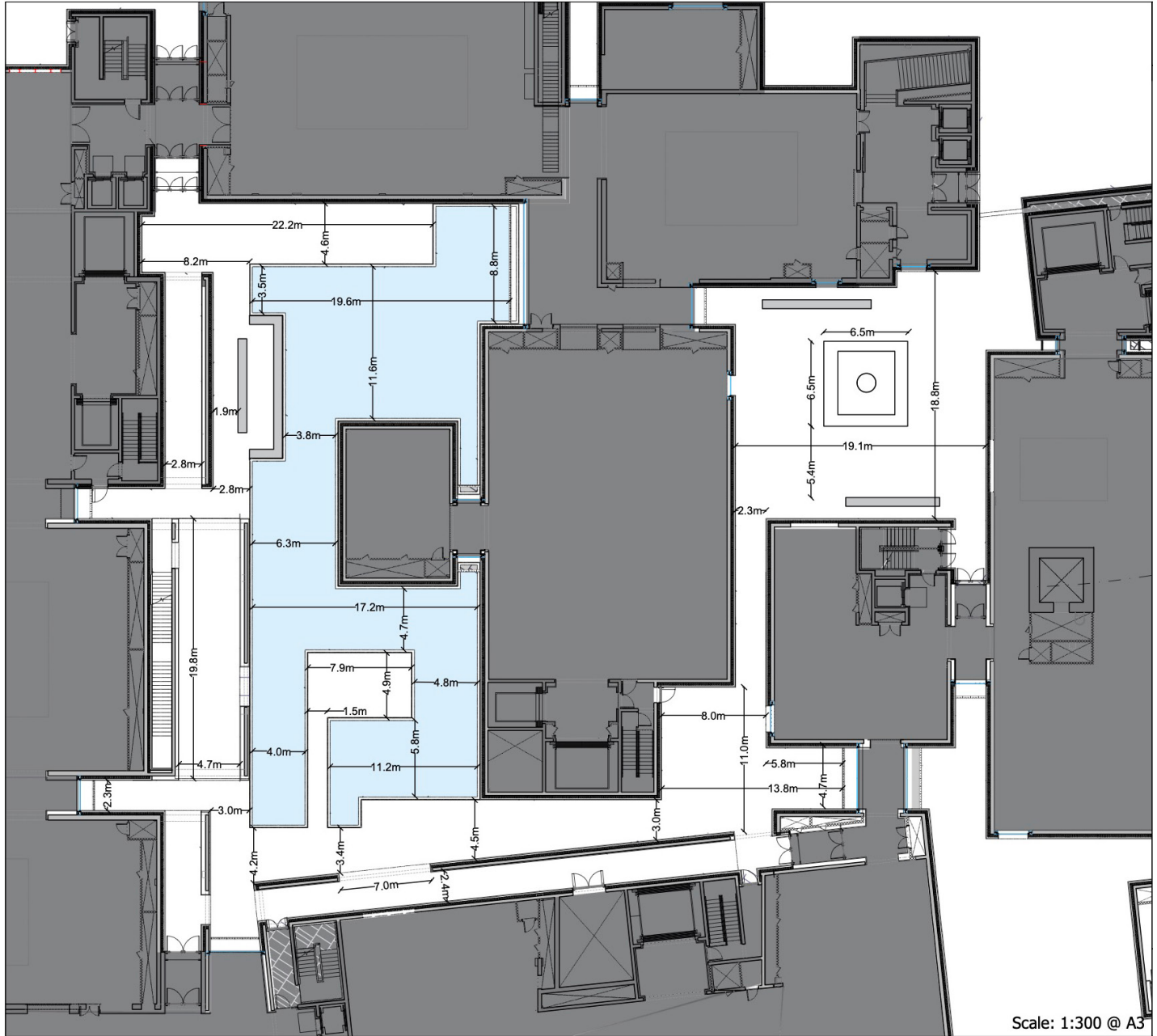
展示スペース - アル・バハラ

応募者はルーヴル・アブダビのドーム下にある外部スペースに展示するよう招かれています。総展示面積1,780m²のうち、舗装面が1,200m²、水上が580m²となっています。来場者の順路は、ダムシンの噴水のある中庭から始まり、瞑想的な浅いプールとジエニー・ホルツァーによるパブリックアートの壁面インスタレーションへと続く通路を通っていきます。

©Department of Culture and Tourism - Abu Dhabi; Photo: Yorgis Yerolimpos
Bottom right: © 2023 Jenny Holzer, member Artists Rights Society (ARSA), NY







Scale: 1:300 @ A3



@louvreabudhabi.ae
LouvreAbuDhabi.ae
+971 600 56 55 66